

教育要覧

2014

教育要覧

2014

富山県教育委員会

教育要覧（2014）目次

I 教育行政

第1節 教育計画

平成26年度県教育委員会重点施策・・・1

第2節 教育行政一般

- 1 富山県教育委員会・・・30
- 2 県教育委員会行政機構・・・33
- 3 県教育事務所・・・35
- 4 市町村教育委員会・・・35

第3節 教育財政

平成26年度当初予算の概況・・・36

第4節 表彰

- 1 叙勲・・・37
- 2 県教育委員会表彰・・・37
- 3 県表彰・・・39
- 4 中央表彰・・・40

第5節 広報広聴活動・・・44

第6節 奨学事業・・・45

II 学校教育

第1節 学校教育概況

- 1 概況・・・47
- 2 幼稚園教育・・・47
- 3 小学校・中学校教育・・・48
- 4 高等学校教育・・・49
- 5 特別支援教育・・・55
- 6 へき地教育・・・61

第2節 学校教育指導

- 1 指導組織・体制・・・62
- 2 教育指導力の向上・・・63
- 3 教科用図書の採択・・・66

第3節 教育課程の展開

- 1 教育課程・・・68
- 2 進路指導・生徒指導・
交通安全指導・・・74
- 3 学校図書館教育・・・78

第4節 教職員

- 1 教職員数・・・79
- 2 学級編制基準・・・79
- 3 職員団体・・・80
- 4 福利厚生・・・81

第5節 保健・体育と学校給食

- 1 学校保健・安全・・・92
- 2 学校給食・・・98
- 3 学校体育・・・101

第6節 学校施設設備・・・104

（公立学校施設の状況）

第7節 教育に関する調査研究等・・・108

（平成25年度富山県総合教育センター事業実績）

Ⅲ 社会教育

第1節 生涯学習

富山県民生涯学習カレッジ

- 1 講座・・・・・・・・・・113
- 2 生涯学習情報の提供・・・・・・・・125
- 3 学習活動の奨励・援助・・・・・・・・125
- 4 視聴覚教育・・・・・・・・127

第2節 青少年教育

- 1 少年教育・・・・・・・・132
- 2 青年教育・・・・・・・・133

第3節 成人教育

- 1 公民講座及び成人大学講座・・・・135
- 2 女性教育・・・・・・・・136
- 3 P T A・・・・・・・・139
- 4 家庭教育・・・・・・・・139
- 5 高齢者教育・・・・・・・・142

第4節 社会教育施設

- 1 富山県立図書館・・・・・・・・143
- 2 富山県青少年自然の家・・・・・・・・148
- 3 富山県立山荘・・・・・・・・155
- 4 公民館・・・・・・・・158
- 5 富山県埋蔵文化財センター・・・・161

第5節 文化活動と文化財

- 1 児童・生徒の文化活動・・・・・・・・163
- 2 文化財保存事業・・・・・・・・164
(銃砲刀剣類登録件数含む)

第6節 生涯スポーツ

- 1 指導者の養成と研修・・・・・・・・170
- 2 スポーツ活動・・・・・・・・171

- 3 社会体育施設・・・・・・・・173

- 4 学校体育施設の開放・・・・・・・・176

資料編

- 1 教育委員会一覧・・・・・・・・177
(市町村教育委員会)

2 人名録

- (1) 県教育委員会・・・・・・・・179
- (2) 県生涯学習審議会委員・・・・・・・・181
- (3) 富山県社会教育委員・・・・・・・・181
- (4) 県文化財保護審議会委員・・・・・・182
- (5) 県スポーツ推進審議会委員・・・・182
- (6) 県議会教育警務委員会委員・・・・183
- (7) 歴代教育委員長、教育委員、
教育長、教育次長・・・・・・183
- (8) 関係団体等一覧・・・・・・・・187

3 博物館・文化財関係

- (1) 博物館一覧・・・・・・・・190
- (2) 県内所在文化財指定件数一覧
・・・・・・・・194
- (3) 市町村別国・県指定文化財一覧
・・・・・・・・196

4 調査統計

- (1) 学校基本調査付帯調査・・・・・・・・205
- (2) 進路希望状況調査・・・・・・・・217
- (3) 発育状態・・・・・・・・218
- (4) 新体力テスト集計結果・・・・・・・・219
- (5) 生徒指導上の諸問題の現状・・・・223

[参考] 教育委員会事務局機構変遷図・・・224

I

教 育 行 政

第1節 教育計画

平成26年度富山県教育委員会重点施策 ～富山スタンダードの更なる推進～

富山県教育委員会は、

- 人間の生き方を考える**優れた知性**の育成
- 自然と芸術・文化に親しむ**豊かな心**の育成
- 風雪に耐えて生きぬく**たくましい体**の育成

を富山県教育の基本目標に掲げ、児童生徒が、学校教育を通じ、友人と切磋琢磨するなかで豊かな人間性と個性や能力を伸ばし、将来にわたってたくましく生きる力を身につけること、また、県民誰もが一人ひとりの目的やニーズ、社会の新たな課題に応じた学習や文化・スポーツ活動に親しむことを目指してきました。

平成25年度には、富山県総合計画の政策体系との整合性を図りながら、富山県教育振興基本計画を策定しました。

基本理念（計画の目標）を、

富山から世界へ羽ばたき、未来を切り拓く人材の育成

－真の人間力を育む教育の推進－

- ・ **変化する社会に果敢にチャレンジし、生き抜いていく確かな力を育てる**
- ・ **優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った「元気とやまっ子」を育てる**
- ・ **富山県の特徴を生かした富山スタンダードを推進し、国内外から評価される教育システムの確立をめざす**

として掲げ、これまでの富山県教育の基本目標を発展・充実させ、「とやまの新しい教育」を創造し、人間的魅力を身につけ、未来に向かってたくましく生きていく「真の人間力」を育む、富山県ならではの教育を展開していきます。

この「基本理念」を踏まえ、本県教育の目指すべき方向を「7つの基本施策」とし、これに基づき、施策を具体的に進めていきます。この富山県教育委員会重点施策は、富山県教育振興基本計画の各年度の実施計画となるものであり、実施に当たっては、市町村教育委員会をはじめ、関係機関、諸団体等と協力しながら、学校、家庭、地域の相互の連携のもとに、実効性のある総合的な教育行政の推進に努めていきます。

今後とも、本県の優れた教育を引き継ぎながら、富山ならではの質の高い教育を行っていくための特色ある取り組みや環境整備である「富山スタンダード」をさらに推進し、家庭、学校、地域等が一体となって質の高い教育を創りあげていきます。

<平成26年度 政策体系別重点施策>

I 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

基本施策の目標：

子どもたちが、知識・技能を身につけるとともに、それを基盤としながら、自らの可能性を発揮して、未来を切り拓いていく力を育む教育が行われていること。

1 確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、自ら学び、考え、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力を育む。

また、基礎的な学力を確実に身につけさせるとともに、それらを活用する力や知的好奇心、学習意欲、探究心を高める教育を実施する。

さらに、科学分野への興味や関心を高め、その能力を伸ばす教育を推進する。

(1) 児童生徒の基礎学力の定着と向上

・ とやま型学力向上総合支援事業（小・中学校）[28, 230千円]

全国学力・学習状況調査等の結果分析と、それを学校改善、授業改善に有効に活用するための体制の充実を図る。市町村教育委員会の学力向上の取組みに対して総合的な支援を行うことにより、児童生徒の確かな学力の育成を図る。

・ 新授業の達人活用事業

授業実践に優れた現職教員を授業の達人として活用

・ 新授業力向上推進リーダー育成事業

各学校で校内研修のリーダーとなる授業力・指導力を備えた中堅教員を育成

・ 新学力向上対策研究拠点校事業

拠点校の優れた取組みを県内全小中学校に普及

・ 学習習慣・生活習慣育成事業

家庭学習啓発用の保護者向けリーフレットの作成・配布

・ 学力向上プラン市町村研究委託事業

・ 学びのアシスト推進事業（小学校）[1, 301千円]

富山大学の教員志望大学生を学習補助者として小学校に派遣し、児童の学習意欲の向上やきめ細かな学習に対応し、学力向上を推進する。

・ 基礎的な学力の定着

県内全ての小学生が共通の問題に取り組む「漢字・計算チャレンジテスト」や、個に応じたきめ細かな指導の充実、朝学習や夏休み中の学習相談の実施等の取組みを行う。
(小中学校課)

- ・ **小学校専科教員配置事業** [58,302千円] [P16に再掲]
中学校との円滑な接続を図るとともに、理科などの学習内容の高度化に対応するため、小学校3～6年生対象の専科教員を配置する。
- ・ **小学校英語講師配置事業** [再掲] [P4に事業概要] (教職員課)
- ・ **とやまの県立学校人づくり推進事業** [18,000千円]
県立学校が策定した中長期ビジョンの実現に向けた実効性のある取組みを支援し、教育の改善と充実を図る。(県立学校課)
- ・ **土曜学習モデル事業** [再掲] [P16に事業概要] (教育企画課)
- ・ **子どもの読書活動推進事業** [再掲] [P17に事業概要] (生涯学習・文化財室)

(2) 科学に対する関心を高め科学的才能を引き出して伸ばす教育の推進

- ・ **とやま科学オリンピックの開催** [8,000千円] [P5に再掲]
子どもたちの科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能を引き出して伸ばすことを目的に、小・中・高校生を対象に、人文・社会科学分野も含めた幅広い思考力を問うとともに、実験・観察も取り入れた「とやま科学オリンピック」を開催する。
- ・ **とやまの科学教育推進事業** [3,900千円] [P5に再掲]
本県ならではの科学教育の取組み（探究科学科、とやま科学オリンピック等）について、教育フォーラム、とやま科学オリンピック体験セミナー等を通じて、その成果を広く学校現場等へ普及する。
- ・ **「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」代表チーム研修事業** [964千円] [P5に再掲]
「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」の全国大会に出場する本県代表チームの研修を実施する。(教育企画課)
- ・ **とやまっ子理科大好き推進事業** [1,085千円]
小・中学校における理科の観察・実験を支援する「観察実験アシスタント」の適切な配置支援と資質向上に向けて、コーディネーターを配置する。(小中学校課)
- ・ **スーパーサイエンスハイスクール事業（国委託事業）** [1,119千円]
先進的な理数系教育の実施により、「探究力」「科学的思考力」「自己発信力」を身につけ、将来、国際社会で活躍する科学技術系人材の育成を目指す。(県立学校課)

2 社会で生きる実践的な力の育成

将来の夢や目標を持ち、進路を自ら選択・決定する力、チャレンジする精神、生涯にわ

たり学び続ける意欲を育む。また、積極的に社会に貢献し、社会に信頼される若者に成長するよう、子どもが職業観や勤労観を身につけるための教育を推進する。

(1) 情報活用能力の育成と教育環境の整備

・ 「とやまマルチネット」を活用した教育の情報化の推進

県域高速回線網「とやまマルチネット」により、全県立学校に整備された校内LANやコンピュータ等のICT学習環境を活用して、教科指導において学力の向上を図るとともに、情報化に対応した新しい資質の育成に向けた情報教育を進めるなど、ICTを活用した教育を充実する。(県立学校課)

・ 情報教育に関する研究や研修等の充実 [7, 253千円]

インターネットやICT環境を活かす教員のICT活用指導力の向上に向けた教育研究及び研修を充実する。

- ・ 小・中・高等学校及び特別支援学校を交えた教育情報データベースの活用
- ・ インターネットやICTを活用した授業方法に関する教育研究
- ・ 情報活用の実践力や情報モラル等情報社会に参画する態度を育てる情報教育に関する教育研究とこれらの実践的指導力を育てる研修 等 (教育企画課)

(2) キャリア教育の推進

・ 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業（県内全公立中学校80校）[再掲] [P10に事業概要]

(小中学校課)

・ 高校生インターンシップ制度推進事業 [264千円] [P10に再掲]

高等学校が、地域、企業と連携しながら実施し、就業体験を通して生徒に望ましい職業観を身につけさせる。

・ 県立高等学校就職支援推進事業 [6, 976千円]

「キャリア支援員」を4地区に配置し、各高校の進路指導担当教員と連携し、未内定生徒個々のニーズの応じた就職相談等の支援を行う。

・ 特別支援キャリア教育の充実事業（国委託事業）[再掲] [P14に概要説明]

(県立学校課)

3 グローバルに活躍する人材の育成

今世界で活躍するグローバルな人材に必要な資質として、自ら学び、考え、問題を解決するために必要な思考力・判断力・コミュニケーション能力及び高い英語力を育む。

また、ふるさとへの誇りと愛着をもち、国際人として活躍する資質を育成する。

(1) 国際人として活躍する資質を育成する教育の充実

・ 小学校英語講師配置事業 [5, 494千円] [P4, 12に再掲]

国が計画している小学校における英語教育の拡充強化に備えて、英語の専門教員として非常勤講師を配置する。(教職員課)

- ・ **とやまの高校グローバル人材育成促進事業（一部国委託事業）** [3, 586 千円]
高度な英語力を持ち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、各校で学習到達目標の設定を促進し、県内高校における英語指導の一層の充実を図る。
- ・ **スーパーグローバルハイスクール事業（国委託事業）** [16, 000 千円]
グローバル人材を育成するため、人文科学・社会科学分野の先進的な教育課程の開発・実践を行う。高度な英語力と国際感覚を身につけた人材育成のため、国連機関NOWPAPや大学との連携、生徒海外研修等を行う。(県立学校課)
- ・ **とやま科学オリンピックの開催** [再掲] [P3 に事業概要]
- ・ **とやまの科学教育推進事業** [再掲] [P3 に事業概要]
- ・ **「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」代表チーム研修事業** [再掲] [P3 に事業概要] (教育企画課)

(2) 青少年の国際理解と国際交流の促進

- ・ **高校生の海外派遣事業の実施** [15, 342 千円]
- ・ **外国語指導助手〔ALT〕の配置** [179, 215 千円]
- ・ **とやまの高校生留学促進事業** [5, 045 千円]
高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る。
- ・ **中国ALT招致事業** [4, 517 千円]
友好県省締結30周年を記念して、遼寧省から語学指導外国青年を招致し、県立学校に配置・派遣することにより、中国語教育の充実を図るとともに、富山県・遼寧省の相互理解及び友好交流を推進する。(県立学校課)

4 教員の資質向上

今後の教員の大量退職を見据え、適性のある優れた教員の確保に努めるとともに、教員が子どもと向き合いやすい環境整備の推進と、優れた教育理念や指導技術の継承、教員研修の充実等により教育への情熱や使命感をもつ勤勉で質の高い教員の育成を図る。

(1) 教員が子どもと向き合いやすい環境整備の推進

[人材の採用、登用等]

- ・ **教職員定数を増加し、少人数教育や特別支援教育の充実等に取り組む。**
- ・ **教職員人材確保事業** [1, 520千円]
意欲ある優秀な教員の確保を図るための周知・広報活動を実施する。

- ・ **採用前研修事業** [500千円]
富山大学と連携し、教員採用内定者を対象とした採用前研修を実施する。
- ・ **教員評価制度の実施**
県内の小・中・高等学校及び特別支援学校で、引き続き教員評価制度を実施する。
- ・ **司書教諭の配置・養成** [449千円]
すべての12学級以上の小・中・高等学校及び特別支援学校に司書教諭を配置するとともに、現職教員の司書教諭資格の取得に努める。 (教職員課)

[子どもと向き合いやすい環境の整備]

- ・ **学校パワーアップ推進会議** [359千円] [P19に再掲]
教員が子どもと向き合いやすい環境を整え、学校教育の質の維持向上、教職員の職務能率の向上と健康増進を図り、もって、学校の組織力を高めるために、「とやま学校パワーアップ方針2014」に基づき、「学校パワーアップ推進会議」において、学校における事務改善策等の検討及び点検を行う。 (教職員課)

[疾病の未然防止・早期対策等]

- ・ **結核健診及び生活習慣病予防健診の実施**
- ・ **生活習慣病予防健診結果に基づく保健指導の実施**
- ・ **長時間勤務教職員に対する医師による面接指導と臨時健診の実施** [34,528千円]
- ・ **人間ドック、女性検診、ストレスドックの実施**
- ・ **リラククス体験の実施**
- ・ **教職員・心の健康管理医によるカウンセリングの実施 等** [37,012千円]
- ・ **「水曜リフレッシュ運動」の推進** (小中学校課)

(2) 教員研修の充実

- ・ **キャリアステージ等に応じた研修の充実** [6,087千円]
若手教員研修(初任者研修、2年次研修、3年次研修)、6年次教職員研修等の年次研修において、「具体的な事例や体験を通して学ぶ研修」や「教職員としての自覚や使命感・倫理観を高める研修」を実施するなど、学校内における職務や経験等に配慮した研修や、新学習指導要領、情報教育、学校組織マネジメント等、今日的な課題に対応した研修の充実に努める。 (小中学校課)
- ・ **現職教員の富山大学大学院、上越教育大学大学院への派遣** [10,829千円]
(教職員課)
- ・ **大学、研究機関、企業等への内地留学や海外研修の実施** [2,061千円]
(県立学校課、小中学校課)

- ・ **大学院修学休業制度や認定講習制度を活用した、教員の専修免許状等の取得の促進や資質向上** [1, 212千円]
- ・ **自己啓発等休業制度を活用した、多様な教育課題に対応できる教員の育成**
(教職員課)
- ・ **教師力向上支援事業** [4, 000千円]
今日的な教育課題に対応していく資質を涵養するため、教員を国内外の教育事情視察などに派遣する。
- ・ **教師の学び支援塾事業** [3, 000千円]
教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導、生徒指導、進路指導、部活動の指導など、学校教育における指導上のノウハウについて、研修等を通じて若手教員に伝承する。(県立学校課)
- ・ **小中学校授業力向上対策事業** [1, 200千円]
小・中学校教員の授業力向上のための研究活動を支援する。(小中学校課)
- ・ **指導力向上特別研修事業** [3, 567千円]
指導が不適切と判定された教員に対して、指導力回復のための研修を実施し、学校現場への復帰を支援する。(教育企画課)
- ・ **生徒指導や教育相談にかかわる教員の資質向上**
生徒指導セミナーや学校カウンセリング講座等の研修機会の充実を図る。
(県立学校課、小中学校課)
- ・ **進路指導にかかわる教員の資質向上** [70千円]
進路指導講演会、事例発表や校種ごとに分かれての研究協議を実施する
- ・ **特別支援教育研修の充実** [599千円]
特別支援学校に在籍する子どもの障害の重度・重複化に対応するため教員の資質向上を図る。
- ・ **環境・資源エネルギー教育推進事業の実施** [6, 000千円]
資源エネルギー教育を推進するため、学習教材の作成や指導方法の工夫改善等について各学校を支援する。(県立学校課)
- ・ **幼稚園教員の資質向上**
基本的な生活習慣や態度を育て、豊かな感性や表現力を養う幼児教育の研修を充実する。(小中学校課)
- ・ **外国人児童生徒に対する日本語指導や生活適応指導等の充実** [8, 896千円]
「外国人児童生徒教育の手引」等の作成、市町村外国人児童生徒就学担当者研修会の開催、外国人児童生徒の多い学校への外国人相談員の配置などを行う。
(教職員課、小中学校課)

Ⅱ 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

基本施策の目標：

子どもたちが、豊かな心を身につけ、たくましく生きるための健やかな体を育む教育や、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加するための力を育む教育が行われていること。

1 豊かな心と健やかな体の育成

規範意識や公共心を身につけ、命を尊び、他者を思いやり支えあう心、感動する心を持った豊かな人間性ととともに、心身の健康を保つ実践力とたくましく生きるための体力を育む。

また、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、問題行動の解消と未然防止に成果を上げているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用により、教育相談体制の一層の充実を図る。

さらに、学校と家庭、地域が一体となって児童生徒の運動の習慣化や体力向上に取り組むとともに、食を大切にすることを育む食育及び健康教育を推進する。

(1) いじめ・不登校問題への総合的な対策の実施

- ・ **小学校へのスクールカウンセラーの配置** [13,377千円]
小学校（20校）にスクールカウンセラーを配置し、教員、児童生徒、保護者等からの相談に対応する。
- ・ **中学校へのスクールカウンセラーの配置** [70,733千円]
県内全公立中学校（80校）にスクールカウンセラーを配置する。そのうち31校には「カウンセリング指導員」も配置する。
- ・ **高校へのスクールカウンセラーの配置** [13,351千円]
県立高校（拠点8校）にスクールカウンセラーを配置し、拠点校でのカウンセリング、その他の高校への巡回支援等を行う。
- ・ **教育事務所管理カウンセラーの配置** [15,613千円]
教育事務所に臨床心理士等の専門家を配置し、スクールカウンセラー未配置校など、緊急に支援が必要な学校への一定期間の派遣や困難事例の支援を行う。
- ・ **いじめ対策カウンセラーの派遣** [6,239千円]
解決困難ないじめ等の事案発生時に、加害者や周りの児童生徒との面談を通して心のケアを行う。
- ・ **緊急スクールカウンセラーの派遣** [6,679千円]
緊急スクールカウンセラーを派遣し、東日本大震災により被災した児童生徒等の心のケアを行う。

- ・ **スクールソーシャルワーカーの派遣** [9, 884千円]
 教育と福祉の両面に関して専門的な知識・技術を有する社会福祉士等の専門家を市町村に派遣し、問題を抱える児童生徒の家庭環境等の改善を支援する。
- ・ **いじめ対策ソーシャルワーカーの派遣** [3, 688千円]
 家庭環境等に起因するいじめ等の事案発生時に、いじめの加害者や保護者に働きかけ、家庭環境の改善を図る。
- ・ **いじめ防止対策推進事業** [2, 000千円]
 関係機関・団体からなる「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、「富山県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策を推進する。
- ・ **ネットパトロール事業** [2, 389千円]
 ネットいじめ等の早期発見・早期対応を図るため、年間を通してインターネット上を検索し、成果等を県内の学校へ提供する。
- ・ **24時間相談電話（いじめ等）の設置** [6, 802千円]
 児童生徒や保護者の電話相談に常時対応するため、県総合教育センターに24時間対応の「いじめ相談電話」を設置する。
- ・ **いのちの教育総合支援事業** [再掲] [P15に事業概要] (小中学校課)

(2) いじめ・不登校等に関する指導・相談体制の充実

- ・ **生徒育成サポート事業** [447千円]
 学校リスクマネジメントに係る弁護士を派遣し、また、困難事例を協議するため「児童生徒支援育成会議」を開催する。
- ・ **問題を抱える子ども等の自立支援事業（国委託事業）** [8, 000千円]
 不登校やひきこもり等児童の問題行動に対応するため、訪問指導員を県総合教育センターに配置し、市町村の適応指導教室や自立支援教室等を支援する。
- ・ **子どもと親の相談員の配置** [4, 666千円]
 県内16小学校に、児童や親が気軽に相談できる「子どもと親の相談員」を配置する。 (小中学校課)
- ・ **生活指導主事の配置**
 各教育事務所にいじめや不登校等の問題に専門的に対応する生活指導主事を配置する。 (教育企画課、教職員課)
- ・ **心のサポーター派遣事業（小・中学校）** [387千円]
 富山大学と連携し、教員志望及び心理学部 of 大学生や大学院生を、児童生徒の話し相手や悩みなどの相談相手をする「心のサポーター」として小・中学校に派遣する。 (小中学校課)

- ・ **子どもほっとライン事業** [再掲] [P16に事業概要] (生涯学習・文化財室)
- ・ **児童生徒の自己指導能力の育成**
児童生徒がやり遂げた喜びや学ぶ喜びを味わえる学習活動の展開、役割分担を明確にしながら組織的・計画的に対応できる生徒指導の推進等により、社会の変化に主体的に対応できる自己指導能力を育成する。(県立学校課、小中学校課)
- ・ **人権教育研究推進事業** [再掲] [P15に事業概要] (小中学校課)
- ・ **人権教育総合推進事業** [再掲] [P15に事業概要] (生涯学習・文化財室)

(3) 道徳性や社会性を育む教育の充実と社会体験活動の推進

[道徳性や社会性の育成]

- ・ **社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの育み**
学校の教育活動全体を通して、児童生徒に社会性や自立心、規範意識、思いやりの心などの豊かな人間性を育み、自由と規律がバランスよく身につくよう努める。(県立学校課、小中学校課)
- ・ **道徳教育総合支援事業** [1,883千円] [P15に再掲]
道徳教育推進講演会の開催、道徳教育用教材の配布等を通して、道徳教育の一層の推進を図る。(小中学校課)

[社会体験活動の推進]

- ・ **社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業(県内全公立中学校80校)** [17,506千円] [P4に再掲]
中学校2年生が、地域での連続5日間の職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に取り組むことにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、たくましく生きる力を身につけることを目指す。(小中学校課)
- ・ **高校生インターンシップ制度推進事業** [再掲] [P4に事業概要] (県立学校課)
- ・ **児童生徒が主体的に進める活動への支援**
福祉・ボランティア活動やインターンシップ、児童生徒自身の問題を解決するための生徒会活動、学級活動等に対し、家庭や地域の教育力も活用しながら支援する。(県立学校課、小中学校課)

(4) 芸術や文化に親しむ心の育成や文化活動等の推進

- ・ **学校巡回劇場(小・中学校)** [876千円]
小・中学生の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操を育む。
- ・ **中学校文化連盟への支援** [1,800千円]
富山県中学校文化祭開催に係る同連盟の活動を支援する。

- ・ **高等学校文化連盟等への支援** [10,052千円]
富山県高等学校文化祭開催等に係る同連盟の活動を支援する。
- ・ **プロの演奏家による学校吹奏楽技術指導の実施** [624千円]
- ・ **文化活動の成果の全国への紹介と県外生との交流促進** [1,700千円]
全国コンクール等の出場者への支援を行う。(生涯学習・文化財室)
- ・ **芸術・文化・科学等の様々な分野で優れた成果を収めた児童生徒の顕彰** [820千円]
(教育企画課)

(5) 運動習慣の定着と体力向上の推進

- ・ **とやま元気っ子“かがやき”事業** [再掲] [P26に事業概要]
- ・ **体力づくりノート作成・配布(みんなでチャレンジ3015)事業** [再掲] [P26に事業概要]
- ・ **楽しい体育実践研究事業** [再掲] [P26に事業概要]
- ・ **武道・ダンス指導推進事業(国委託事業)** [再掲] [P26に事業概要]
- ・ **新スポーツエキスパート活用推進事業** [再掲] [P26に事業概要]
(スポーツ・保健課)

(6) 望ましい食習慣の定着と健康教育の推進

- ・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業(学校保健関係)** [1,551千円]
[P17,26に再掲]
 - ・ 早寝早起きや、朝ご飯をしっかりと食べるなどの望ましい生活習慣を身につけさせ、心身の健康の保持・増進を図る。
 - ・ 健康づくりノート(とやまゲンキッズ作戦)を活用した保健指導や専門医と連携した健康管理の充実を図る。
- ・ **食育実践校モデル事業** [10,000千円]
 - ・ 食育実践モデル校を指定し、栄養教諭を中心に関係機関の連携により、児童生徒の食育を通じた学力向上、健康増進などの効果について科学的データに基づき検証を行い、食育の一層の充実を図る。(スポーツ・保健課)
- ・ **栄養教諭の配置** (教職員課)
- ・ **学校での健康教育等の推進と家庭における健康づくりの支援**
児童生徒の健康診断結果等を分析し生活習慣病等の予防対策を実施する。
また、健康な生活習慣づくり、歯科保健、近視予防、性感染症予防、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等について、実践活動の研究や啓発普及を行う。

- ・ **学校でのがん教育支援事業 [600千円]**
教材の作成・配布、医師等の講師派遣など、がんに関する教育を推進する。
- ・ **学校給食の衛生管理の状況調査・改善指導**
- ・ **栄養管理等の研修会の開催** (スポーツ・保健課)

2 少人数教育と校種間連携の推進

少人数指導と少人数学級のよさを考慮し、学校現場の実態に応じたきめ細かな少人数教育を着実に実施するとともに、小学校専科教員、小学校・学びサポート講師、中学校・学びサポート講師や中1学級支援講師等を活用し、理科や音楽等における専科指導、個に応じた学習指導や生活指導など、本県独自の効果的な教育を一層推進する。

また、小学校入学時の保護者の不安解消や指導者の理解を深める資料の作成、合同研修会等を実施することを通して、幼稚園・保育園・小学校の円滑な連携・接続を推進する。

(1) 少人数教育の推進

- ・ **小学校1・2年生での35人以下学級の実施**
小学校低学年において、子どもたちが基本的な生活習慣や基礎的な学習態度を身につけられる、きめ細かな指導を行える環境を整備する。
- ・ **小学校3～6年生での少人数指導 [93,994千円]**
小学校3～6年生で35人を超える学級に正規教員や非常勤講師を配置し、少人数指導を実施する。
- ・ **小学校専科教員等配置事業 [再掲] [P3に事業概要]**
- ・ **小学校英語講師配置事業 [再掲] [P4に事業概要]**
- ・ **小学校・学びサポート講師配置事業 [27,647千円]**
小中規模校において、きめ細かな指導により、基礎学力や望ましい学習態度の一層の定着を図るため、非常勤講師を配置する。
- ・ **中学校・学びサポート講師配置事業 [9,216千円]**
小中規模校において、きめ細かな指導により、基礎学力の定着や学力の向上を図るため、非常勤講師を配置する。
- ・ **中1学級支援事業 [9,661千円]**
いじめ、不登校が急増する中学1年生の学校生活への適応支援を行うため、中1学級支援講師を配置する。
- ・ **中1・35人学級選択制導入事業 [31,986千円]**
中学校1年生において、学校の実情により少人数（35人以下）学級又は少人数指

導を弾力的に選択できる中1・35人学級選択制を引き続き実施するほか、対象校の授業時数増に対応するため、非常勤講師を配置する。(教職員課)

(2) 校種間連携の推進

- ・ **小学1年生 安心子育て支援事業** [767千円]
小学校入学前後の子どもを持つ保護者を支援するため、保護者支援リーフレットを配布する。(小中学校課)
- ・ **学びの体験オープンハイスクール事業** [665千円] [P19に再掲]
中学3年生が、各高等学校の教育内容の理解を深め、明確な目的意識を持って進学できるようにするための体験入学期間を設けるとともに、地域への授業公開を進めることで中高の円滑な接続、地域に信頼される学校づくりを推進する。
- ・ **高大連携未来を拓く人材育成事業** [1,500千円] [P19に再掲]
県内大学等と県立高校が連携し、大学教員による専門性の高い特別授業や、探究科学科設置校等による行動発表会を開催する。(県立学校課)

3 特別支援教育の充実

特別な教育的ニーズのある児童生徒に対して、通常の学級や通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を提供する。

(1) 共生・共育の推進

- ・ **特別支援学校ふれあい交流活動事業** [310千円]
障害のある子どもと、障害のない子どもや地域の人々との交流及び共同学習を支援し障害のある子どもの経験を広げ社会性を豊かにする。(県立学校課)

(2) 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進と支援体制の整備・充実

- ・ **富山県特別支援教育総合推進事業** [1,969千円]
幼・小・中・高・特別支援学校に在籍する障害により特別な支援を必要とするすべての子どもに対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行う。
 - ・ 専門家チームの設置や巡回相談
 - ・ スタディ・メイト（特別支援教育支援員）の養成
 - ・ 富山大学の教員志望大学生を活用した、スタディ・メイトジュニア（学生支援員）の小学校への派遣 等
- ・ **早期教育相談支援事業（国委託事業）** [5,909千円]
障害のある子どもに対する早期からの教育相談及び支援体制の構築を推進するため、教育と保育、福祉、保健、医療等の連携推進、情報提供等の取組を支援する。

- ・ **富山型デイサービス・特別支援学校連携事業** [320千円]
 特別支援学校と、特別支援学校在籍児童生徒が利用している富山型デイサービス及び関係部局が連携を深めることにより、特別支援学校在籍児童生徒の共通理解を図る。
- ・ **特別支援学校医療的ケア体制整備事業** [13,705千円]
 日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒が多数在籍する特別支援学校へ看護師を配置し、児童生徒が健康で安全に学校教育を受けることができる環境を整備する。
- ・ **インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業（国委託事業）**
 [3,962千円]
 学校におけるインクルーシブ教育システム実現に向け、障害のある児童生徒に合った指導法や支援体制の検討、合理的配慮の在り方について調査・研究を行う。
- ・ **外部専門家を活用した特別支援学校のセンター的機能充実事業（国委託事業）**
 [3,114千円]
 外部専門家を活用した実践的研修の実施等により、特別支援学校のセンター的機能を強化充実する。
- ・ **学齢超過者への訪問教育実施事業** [533千円]
 障害のため義務教育を猶予・免除された者のうち、希望者に訪問による教育機会を提供する。
- ・ **特別支援学校通学運営** [147,250千円]
 特別支援学校に通学する児童生徒の安全確保や遠距離通学に伴う負担軽減、保護者の送迎に対する負担軽減を図るため、通学バスを運行する。
- ・ **新特別支援キャリア教育の充実事業（国委託事業）** [7,889千円] [P4に再掲]
 特別支援学校高等部に在籍する生徒及び高等学校に在籍する発達障害を含む障害のある生徒の将来の自立と社会参加に向けた適切な指導を行うため、生徒のカウンセリング・教員のコンサルテーション、就労先開拓・職場定着への支援、特別支援学校・高等学校・企業の連携などの充実を図る。 (県立学校課)

(3) 特別支援学校の整備推進

- ・ **特別支援学校の改築、修繕等**
 特別支援学校（富山総合支援）の改築、校舎等の修繕、教育設備の整備などを進める。
- ・ **特別支援学校空調設備の整備** <H25.2月補正223,850千円>
 全ての特別支援学校の普通教室に、エアコンを設置する。 (教育企画課)

4 特別支援教育の充実

児童生徒一人ひとりが、人間としてかけがえのない存在であることを自覚し、いじめや偏見・差別をなくし、互いに尊重し合い、好ましい人間関係を築いていこうとする心と態度を育成する。

(1) 人権教育に関する研修内容の充実や指導者の育成

- ・ **人権教育研究推進事業** [230 千円] [P10 に再掲]
学校における人権教育に関する指導方法の改善・充実のため、モデル校を指定し、実践的な研究を行う。 (小中学校課)
- ・ **人権教育総合推進事業** [1, 890 千円] [P10 に再掲]
人権教育に関する研修会を開催するとともに、啓発資料を作成・配布し、人権尊重についての認識をさらに深めるよう努める。 (生涯学習・文化財室)

(2) 命を大切にする心や思いやりの心を育てる学習機会の充実

- ・ **いのちの教育総合支援事業** [1, 598千円] [P9に再掲]
いのちの先生の派遣、いのちの教育講演会の開催及びいのちのメッセージカードの活用等を通して、学校と家庭が一体となった、いのちの教育の推進を支援する。
- ・ **道徳教育総合支援事業** [再掲] [P10に事業概要] (小中学校課)
- ・ **子育てふれあい体験事業** [323千円]
生命の尊さや家庭の役割、子育てについて理解を深めるため、乳幼児とのふれあい体験を推進する。 (県立学校課)

Ⅲ 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

基本施策の目標：

子どもたちが、虐待・いじめなどの人権侵害を受けることなく、健やかに成長しているとともに、学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な教育環境の中で、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育てていること。

1 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実

子どもや若者が健全で心豊かに育つよう、地域の環境整備に努めるとともに、地域活動を通じて社会性を身につけ豊かな心を育む地域の教育力の充実に努める。

(1) 子どもの意見発表の機会づくり、青少年健全育成運動の推進

- ・ **子どもとやま県議会事業** [886千円]

子どもたちの代表40人が県議会議事堂にて、身近で学んだことや体験したことを題材に、将来の富山県や日本、世界について、感性あふれる意見や夢のある提言を発表する。

- ・ **富山県青年議会の開催** [500千円]

各市町村や青年団体等から推薦された青年議員40人が、よりよい県政の方向性等について若者の視点で学習してきた成果を生かし、県議会議事堂において、県当局に質問や提案をする。

- ・ **子どもほっとライン事業** [1,354千円] [P10に再掲]

電話や電子メール等により子どもたちの悩みや質問に応える相談活動を行う。

- ・ **青少年自然の家の運営** [66,890千円]

自然環境の中での集団生活を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、呉羽青少年自然の家及び砺波青少年自然の家を運営する。

- ・ **立山荘の運営** [9,194千円]

県内小学校等による集団立山登山や観光客の宿泊・休憩施設として立山荘を運営する。
(生涯学習・文化財室)

(2) 学習・遊び・体験活動や地域住民との交流活動の推進

- ・ **土曜学習モデル事業** [8,000千円] [P3に再掲]

- ・ 教育課程に位置づいた土曜授業のカリキュラムの研究、実践を行う。
- ・ 地域人材等を活用し、土曜日ならではの学習プログラムを推進する。

(教育企画課)

- ・ **放課後子ども教室推進事業** [31,070千円]
放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。
- ・ **高校生「ボランティアパスポート」活用事業** [1,300千円]
「ボランティアパスポート」の活用を通して、高校生の社会参画意識を醸成する。
- ・ **公民館親子で高志の国探検事業** [3,000千円] [P21, 24に再掲]
幼児から中学生を対象に、公民館による子どもたちの身近なふるさと学習や自然体験を推進する。
(生涯学習・文化財室)

2 家庭の教育力の向上

学校、家庭、地域、企業等が連携し、家庭の教育力の向上を図るとともに、子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた取組みを推進する。

- ・ **とやま親学び推進事業** [1,800千円]
 - ・ **とやま親学び推進協議会設置事業**
とやま親学び推進協議会を設置し、とやま親学び推進リーダーを養成・配置することにより、親学びを推進する。
 - ・ **親学び企業内啓発講座**
経済団体等と連携して、企業において家庭教育講座を開催する。
- ・ **家庭教育総合相談事業** [7,502千円]
子育て情報ホームページ「子育てネッ！とやま」による情報提供や、電話相談やカウンセリング、電子メール等を活用した家庭教育に関する総合的な相談体制を整備する。
- ・ **家庭教育かわら版事業** [2,800千円]
しつけや望ましい生活習慣、親子のふれあいなどの家庭教育に関する情報紙「ほっとタイムス」を年2回発行し、幼稚園・保育園児から小学校2年生までの保護者等に配布する。
- ・ **子どもの読書活動推進事業** [2,227千円] [P3再掲]
家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動を推進するため、「子どもと本の講座」を開催するとともに、とやま元気ワールド・絵本ランドの開催を支援する。
(生涯学習・文化財室)
- ・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業** [再掲] [P11に事業概要]
(スポーツ・保健課)

3 児童等の安全の確保

市町村、学校、家庭、地域、関係団体等と連携して、子どもの見守り活動や安全教育、不審者情報等の共有化などを推進することにより、児童生徒等の安全を確保する。

また、学校の耐震化を進め、引き続き、その耐震性の確保に努めるとともに、防災教育の推進やその普及啓発を図る。

(1) 学校における安全対策及び防災教育の推進

- ・ **子どもの登下校安全対策事業** [3,364千円]
登下校時等の子どもの安全を確保するため、スクールガード・リーダーを配置するとともに、子どもの見守り活動を支援する。
- ・ **通学路安全推進事業（国委託事業）** [1,805千円]
通学路の安全を確保するため、市町村に通学路安全対策アドバイザーを派遣し、専門的な指導・助言のもと、学校、市町村教育委員会、関係機関等との連携により、通学路の安全対策を検討する。
- ・ **実践的學校防災教育総合支援事業（国委託事業）** [2,990千円]
緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練や外部有識者の指導・助言による危機管理マニュアル等の見直しなど、先進的・実践的な防災教育を推進する。
- ・ **防犯教育、防災教育指導者講習会の開催**
学校の実践的な安全教育、防災教育の充実を図るため、教職員等を対象として実施する。
(スポーツ・保健課)

(2) 学校施設の耐震化等の推進

- ・ **高等学校建設事業** [再掲] [P20に事業概要]
- ・ **高等学校校舎等耐震補強事業** [1,210,194千円] <ほか H25.2月補正35,595千円>
[P20に再掲]
滑川高校（特別教室等）の耐震補強工事等
- ・ **県立学校体育館等の天井落下防止対策事業** [95,561千円] [P20に再掲]
(教育企画課)

IV 多様なニーズに対応した高校等の社会環境の充実

基本施策の目標：

様々なニーズに対応した教育環境の整備が進められ、子どもたちが未来に希望を持って、魅力ある教育を受けられていること。

1 県立学校の教育環境の整備・充実

教育熱心な県民性、優れた教育実践、豊かな自然や文化に恵まれた教育環境などの特性を活かした富山の伝統ある教育力の継承とその発展・創造を図る。

また、社会の変化や生徒・保護者のニーズ等に対応した高校教育の一層の充実を図るとともに、学校運営の改善や教育施設環境の整備等を推進する。

(1) 県立学校教育振興計画の推進

- ・ **県立学校教育振興計画の推進** [600千円]
県立学校の教育振興を図るための「県立学校教育振興計画 基本計画」に基づき、学校の望ましい規模と配置など、生徒の学習環境の整備等を着実に推進するための必要な施策を実施する。
- ・ **県立学校整備のあり方等に関する検討事業** [1,000千円]
将来展望に立った高校教育の課題、中学校卒業生数の動向、生徒・保護者のニーズ等を考慮した魅力ある県立高校整備等のあり方を検討する。
- ・ **高大連携未来を拓く人材育成事業** [再掲] [P19に事業概要] (県立学校課)

(2) 学校運営の改善

- ・ **とやま型学校評価システムの推進**
小・中学校の教育活動についての的確に評価を行い、その結果を公表する「とやま型学校評価システム」を全公立小・中学校において実施する。併せて、学校評議員制度の導入促進を図る。(小中学校課)
- ・ **学校評価の推進**
学校の教育活動について、的確に評価を行いその結果を公表する学校評価を全県立学校で実施するとともに、その充実を図る。
- ・ **学校評議員事業** [729千円]
学校評議員制度を全県立学校で実施する。
- ・ **学びの体験オープンハイスクール事業** [再掲] [P13に事業概要] (県立学校課)
- ・ **学校パワーアップ推進会議** [再掲] [P13に事業概要] (教職員課)

(3) 県立学校の整備推進

- ・ **高等学校建設事業** [1,685,595千円] [P18に再掲]
魚津工業高校（情報環境棟）、高岡工芸高校（建築電気土木棟）の改築等
- ・ **高等学校校舎等耐震補強事業** [再掲] [P18に事業概要]
- ・ **県立学校体育館等の天井落下防止対策事業** [再掲] [P18に事業概要]
- ・ **学校修繕費（全日制・定時制）** [486,559千円]
校舎等の修繕、防災対策等

(4) 高校生の修学支援

- ・ **高等学校等就学支援金等** [642,154千円]
高等学校に在籍する生徒に対して、高等学校等就学支援金を支給することにより、教育費（授業料）の負担の軽減を図る。（平成26年度入学生から）
また、高校等を中途退学した者が再び高校で学び直す場合に、「学び直しの支援」として、就学支援金支給期間経過後も卒業までの間（最長2年）継続して授業料の支援を行う。
- ・ **奨学のための給付金事業** [83,289千円]
授業料以外の教育費負担を軽減するため、公立及び国立の高校等の低所得世帯の生徒に対して「奨学のための給付金」を支給する。（平成26年度入学生から）
- ・ **奨学資金事業の実施** [92,208千円]
経済的理由で修学が困難な高校生等に対して奨学資金の貸与を行う。
通常の奨学式制度のほか、保護者の失職などによる家計急変の場合、月額5千円上乗せして貸与する「特別緊急採用による奨学金制度」などを実施する。
(県立学校課)

V ふるさとを学び楽しむ環境づくり

基本施策の目標：

子どもや県民一人ひとりが、ふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深めることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいること。

1 学校におけるふるさと学習の推進

子どもたちの郷土の自然、歴史や文化、産業、先人の英知や偉業、郷土の食文化等への理解を深め、ふるさとを思う心と、広い視野に立って社会に貢献していこうとする態度を育む取組みを推進する。

- ・ **「ふるさととやまの人物ものがたり」を活用したふるさと教育の推進**

郷土の先人54人を紹介した小学校高学年向けの読み物資料「ふるさととやまの人物ものがたり」を社会科のほか、道徳の時間、総合的な学習の時間や朝読書等において活用し、ふるさと教育の推進を図る。

- ・ **郷土に対する理解や愛着心の育み**

社会科や道徳の時間における郷土の偉人や歴史、産業に関する学習活動、総合的な学習の時間や特別活動における伝統文化の伝承活動等を促進する。(小中学校課)

- ・ **高校生郷土史・日本史学習教材活用事業** [5,068千円]

新学習指導要領のもと、全ての県立高校において、補助教材を用いた郷土史・日本史学習を行うとともに、補助教材の効果的活用に関する研修を実施する。

(県立学校課)

- ・ **「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの実施** [1,000千円]

(教育企画課)

- ・ **「高志の国文学」情景作品コンクールの実施(中・高等学校)** [1,238千円]

(生涯学習・文化財室)

2 家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興

家庭、地域、企業等が一体となって、県民ぐるみで、ふるさとの自然や歴史、くらし、産業等を学び、親しむ機会を充実するとともに、県民が連帯感を持ち、ふるさと富山に誇りと愛着を育む取組みを推進する。

- ・ **公民館親子で高志の国探検事業** [再掲] [P17に事業概要]

- ・ **ふるさとの魅力探究事業** [2,000千円] [P24に再掲]

北陸新幹線の開業を控え、県民がふるさと富山を新しい視点から学び、考え、行動することを支援する講座を実施する。

- ・ **ふるさと文学啓発事業** [1, 656千円] [P24に再掲]
高志の国文学館等と連携し、ふるさと文学について学びを深めることができる講座、ボランティア育成講座、ふるさと文学等に関する上映会を開催する。
(生涯学習・文化財室)

3 伝統文化の保存・継承

富山らしい魅力ある地域資源を発掘し、さらにその価値を高め、新しい魅力の創造につなげるなど、ふるさとへの誇りと愛着を抱きながら魅力ある地域づくりを進めようとする、地域や県民主体の取組みを促進する。

(1) 伝統文化の魅力の発信

- ・ **世界文化遺産登録推進事業** [6, 400千円]
・高岡御車山祭の世界無形文化遺産登録に向けた普及啓発事業及び資産の保存修理事業に対して支援する。
- ・ **とやまの縄文遺跡公開活用事業** [9, 500千円]
小竹貝塚の埋葬人骨等を展示するコーナーの設置及びPRを行う。
- ・ **立山・黒部山岳遺跡調査事業** [2, 600千円]
立山・黒部地域の歴史的遺構・遺跡の詳細把握調査を実施する。
- ・ **「富山県デジタル文化財ミュージアム」の運営**
ホームページで県内の優れた文化財の魅力を発信する。 (生涯学習・文化財室)

(2) 国・県指定文化財の保存修理等の推進

- ・ **国・県指定文化財の保存修理事業への支援** [79, 300千円]
金屋町の保存修理、五箇山の合掌造り建物の屋根葺き替えなど
- ・ **国指定重要文化財勝興寺の本坊等の保存修理（大広間など）事業への支援**
[18, 600千円]
- ・ **城端別院「善徳寺本堂」緊急震災対策事業への支援** [24, 000千円]
建立から250年を経て老朽化が著しい県指定文化財「善徳寺本堂」について、緊急的な耐震補強工事に対する支援を行い、貴重な文化財建造物の保存・継承を図る。
(生涯学習・文化財室)

(3) 伝統文化を保存・継承する人材の育成・確保

- ・ **いきいき文化財博士活用推進事業** [110千円]
文化財ボランティアの活動の充実と後継者の育成を図り、身近な文化財に対する愛護意識を醸成する。

- ・ **わくわく古代チャレンジ2014事業** [2,000千円]

地域の遺跡からの出土品を活用した体験学習会や考古学講座の開催などを通して、子どもたちのふるさとの歴史や文化を愛する心を醸成する。(生涯学習・文化財室)

VI 生涯をととした学びの推進

基本施策の目標：

すべての世代の県民が、それぞれの目的、ニーズや社会の新たな課題に応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができること。

1 多様な学習活動の支援

生涯学習講座の開催や、ICT（情報通信技術）を活用した在宅学習機会の充実など、ライフステージに応じて県民一人ひとりが多様な学習機会を享受できるよう支援する。

- ・ **県民カレッジ本部の運営** [28,860千円]
カレッジ自遊塾、夏季講座等の開催
- ・ **県民カレッジ地区センターの運営** [44,933千円]
- ・ **富山県映像センターの運営** [5,518千円]
- ・ **公民館親子で高志の国探検事業** [再掲] [P17に事業概要]
- ・ **ふるさとの魅力探究事業** [再掲] [P21に事業概要]
- ・ **ふるさと文学啓発事業** [再掲] [P21に事業概要]
- ・ **青少年教育、女性教育、成人教育等の普及啓発を实践する社会教育団体の支援**
[32,621千円] (生涯学習・文化財室)

2 県民の学習を支える基盤整備

県民にとって身近な学習機会に関する情報提供の充実や、学習成果を地域づくりなどに活用できる環境の整備を進める。

- ・ **とやま学遊ネットの運用** [6,819千円]
生涯学習情報のリアルタイムの提供、双方向化等内容を充実する。
とやま公民館学遊ネットによる、公民館からの地域情報発信を支援する。
- ・ **県立図書館のサービス向上と利用促進** [81,456千円]
- ・ **ふるさと文学啓発事業** [再掲] [P21に事業概要] (生涯学習・文化財室)

Ⅶ 元気を創造するスポーツの振興

基本施策の目標：

県民一人ひとりが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるとともに、本県の選手が全国や世界の檜舞台で活躍していること。

1 県民がスポーツに親しむ環境づくり

全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレクとやま2010）開催の成果を活かし、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進するとともに、地域における指導者などスポーツを支える人材の養成や効果的な活用に努める。

(1) スポーツへの参加を促す機会づくりの推進

- ・ **元気とやまスポレク推進事業** [1,720千円]
県内4地区で順次、スポレク種目等の交流大会を開催する。
- ・ **富山県スポーツフェスタの開催** [11,746千円]
子どもから高齢者まで、トップアスリートからスポーツ・レクリエーション愛好者までの幅広いスポーツ志向に対応した、県主催の県内最大規模の総合的なスポーツ大会である富山県スポーツフェスタを開催する。
- ・ **元気とやまウォークラリーの開催** [1,900千円]
子どもから高齢者まで、県民が一体となって、運動習慣の定着、体力の向上を図ることを目的とするウォーキング・イベントを県内2か所で実施する。
- ・ **富山マラソン2015の開催準備** [50,000千円]
平成27年11月1日の開催に向けて、実施計画の策定やボランティアの育成、県内外へのPRを実施する。
- ・ **全国的・国際的大会開催への支援** [1,900千円]
- ・ **中部日本スキー大会の開催への支援** [3,300千円] (スポーツ・保健課)

(2) 総合型地域スポーツクラブの育成

- ・ **富山県広域スポーツセンターの運営** [4,488千円]
- ・ **クラブの連携促進のため、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会等を支援**
(スポーツ・保健課)

(3) スポーツを楽しむ環境づくり

- ・ **県営スポーツ施設の利用促進** [472,656千円]

- ・ **県営スポーツ施設の整備** [153,098千円]
- ・ **県立学校の体育館、グラウンド等の地域住民への開放** [5,378千円]
(スポーツ・保健課)

2 学校等における体育・スポーツの充実

たくましい心と体を持った子どもを育成するため、学校や家庭、地域が一体となった、児童生徒の運動の習慣化や体力向上の取組みを推進するとともに、中学・高校の運動部活動の活性化を図る。

(1) 望ましい生活・運動習慣の定着と体力向上の推進

- ・ **とやま元気っ子“かがやき”事業** [10,033千円] [P11に再掲]
スポーツ指導員が「きときと君」と一緒に幼稚園、小学校等を巡回し、「新幹線ダンス」や発達段階に応じた運動を指導する。
- ・ **体力づくりノート作成・配布(みんなでチャレンジ3015)事業** [2,571千円] [P11に再掲]
幼児期からの体力向上を図るプログラムに基づいた体力づくりノートを作成し、小学生に配布する。
- ・ **「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業** [再掲] [P11に事業概要]
(スポーツ・保健課)

(2) 学校体育の充実や運動部活動の活性化

- ・ **楽しい体育実践研究事業** [5,000千円] [P11,29に再掲]
小中学生のスポーツへの興味を高める授業の実践研究を実施し、アスリート育成の裾野を拡大する。
- ・ **武道・ダンス指導推進事業(国委託事業)** [3,400千円] [P11,29に再掲]
平成24年度から必修化となった中学校の武道・ダンスの授業に専門的で高い技術指導力を持つ地域のスポーツ人材を、体育の授業補助として派遣する。
- ・ **新スポーツエキスパート活用推進事業** [15,654千円] [P11,26に再掲]
県立学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者をテクニカルエキスパート、トレーニングエキスパートとして派遣する。
また、市町村が行う中学校へのスポーツエキスパート派遣についても支援する。
- ・ **中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業** [再掲] [P27に事業概要]
- ・ **「環日本海インターハイ親善交流大会」への選手団派遣** [4,577千円]
ロシア沿海地方で開催予定の、富山県、中国遼寧省、韓国江原道、ロシア沿海地方の高校生のスポーツ交流大会に選手団を派遣する。
(スポーツ・保健課)

3 全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成

ジュニア期から個人の特性や発育発達段階に応じて強化に取り組む一貫指導体制を推進するなど、全国や世界の檜舞台で活躍できるトップアスリートの育成を目指した強化施策の再構築や強化拠点の再整備を図るとともに、トップアスリートの活躍を県民総ぐるみで応援する環境づくりを推進する。

(1) ジュニア期から強化に取り組む一貫指導体制の推進

- ・ **未来のアスリート発掘事業** [5,000千円]
スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭等と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材の育成をサポートする。
- ・ **元気とやまスポーツ道場** [18,000千円]
拠点スポーツ施設等を活用した練習会等に加えて、県内合宿や県外遠征の実施により、競技ごとに豊かな素質を持つ中・高校生の長期的な育成・強化活動の充実を図る。(18競技)
- ・ **中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業** [3,000千円] [P26に再掲]
運動部活動顧問の指導力向上や部活動運営の支援、本県スポーツの競技力の向上と運動部活動の一層の充実を図るため、スーパーコーチ（全国大会で優勝等の実績がある指導経験豊かなスポーツ指導者）を派遣する。
- ・ **世界で活躍できる選手を育成するための一貫指導体制の確立**
- ・ **中・高校生・成年の合同合宿や長期合宿遠征等の強化活動に対する支援**
(スポーツ・保健課)

(2) 主力競技等の重点強化

- ・ **県民の関心の高い駅伝、野球やサッカーの強化** [15,000千円]
重点強化種目の3競技について、一貫指導体制に基づく効果的な強化策を実施する。
- ・ **富山県スポーツ選手重点強化プロジェクトの推進** [6,487千円] [P28に再掲]
県スポーツアドバイザーを委嘱し、本県スポーツ指導者の意識改革や、トップアスリートの育成・強化に的を絞った競技力向上対策を図る。
また、少年種別の重点強化モデル事業及び指導者の資質向上研修派遣事業を10競技で実施する。
- ・ **富山県駅伝競走大会の開催支援** [3,000千円] (スポーツ・保健課)

(3) 総合的な強化活動の推進

- ・ **元気とやまスポーツ振興会議の開催** [1,400千円]

競技力向上や県民のスポーツ振興策等について検討するため、元気とやまスポーツ振興会議を開催する。

- ・ **TOYAMAアスリートマルチサポート事業** [18,606千円]
スポーツ医・科学に基づく一貫した体カトレーニング体制を構築し、将来オリンピックや世界で活躍できる選手を育成する。
- ・ **トップアスリート育成・強化事業** [698千円] [P29に再掲]
国立スポーツ科学センター（JISS）やナショナルトレーニングセンター（NTC）との連携による、選手強化・指導者の資質向上を図る。
- ・ **国内トップレベルの指導者やスポーツ医・科学の専門家の招へい** [P29でも掲載]
- ・ **専門医によるメディカルチェックやスポーツ・クリニックの実施**
- ・ **競技団体の高額特殊備品購入の支援** [4,000千円]
- ・ **競技団体ごとの強化拠点の整備**
- ・ **合宿・遠征に対する支援**
- ・ **企業・地域クラブチームへの支援**
- ・ **国民体育大会への本県選手の派遣** [64,684千円] (スポーツ・保健課)

(4) トップアスリートを支援する体制づくりの推進

- ・ **富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業** [10,000千円]
元気とやまスポーツ応援基金を活用し、オリンピック等で活躍が期待できる本県選手や指導者の活動を支援する。(スポーツ・保健課)

4 スポーツを支える人材の養成及び活用

地域のスポーツ活動を一層推進するため、質の高いスポーツ指導者の育成や国際大会等で活躍したトップアスリートの活用に努める。

また、スポーツ指導者とともに、県民の様々なスポーツ活動の企画や運営を支えるスポーツボランティアの必要性や意義等を啓発し、人材の確保と活用に努める。

(1) スポーツ指導者やボランティアの確保と活用

- ・ 「パスネットとやま」による指導者等の情報提供 (スポーツ・保健課)

(2) スポーツ指導者の意識改革や資質向上

- ・ **富山県スポーツ選手重点強化プロジェクトの推進** [再掲] [P27に事業概要]

- ・ **トップアスリート育成・強化事業** [再掲] [P28に事業概要]
- ・ **国内トップレベルの指導者やスポーツ医・科学の専門家の招へい** [P28でも掲載]
(スポーツ・保健課)

(3) 地域のスポーツ指導者の活用とスポーツ団体の育成・支援

- ・ **楽しい体育実践研究事業** [再掲] [P26に事業概要]
- ・ **武道・ダンス指導推進事業（国委託事業）** [再掲] [P26に事業概要]
- ・ **新スポーツエキスパート活用推進事業** [再掲] [P26に事業概要]
- ・ **派遣スポーツ主事の全市町村への配置**
市町村の生涯スポーツ振興を支援する。
- ・ **県スポーツ推進委員研修会や各種研修会の開催** [1, 200千円]
- ・ **中高年安全登山指導者講習会の開催** [300千円]
富山県山岳連盟等と連携し、安全登山を指導できるリーダーを養成する。
- ・ **富山県体育協会の活動支援** [81, 196千円]
- ・ **富山県生涯スポーツ協議会や加盟団体の活動支援** [10, 322千円]
- ・ **中学校体育連盟や高等学校体育連盟の活動支援** (スポーツ・保健課)

(4) スポーツ顕彰制度の充実

- ・ **「元気とやまスポーツ大賞」等の授与** [676千円]
スポーツの普及・振興に尽力した個人・団体、スポーツ活動で優れた成果を収めた個人・団体を表彰する。 (スポーツ・保健課)

第2節 教育行政一般

1 富山県教育委員会

(1) 教育委員（平成26年10月現在）

委員長	村井和	委員長職務代理者	稲垣晴彦
委員	種部恭子	委員	大谷弓子
委員	米田猛	委員	寺井幹男

(2) 議決事項〈平成26年〉

*は非公開

番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
1	H26.1.27	富山県立山博物館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
2	H26.2.17	富山県教育職員免許状に関する規則一部改正の件	教職員課	
3	H26.2.17	平成26年2月富山県議会定例会に付議する平成25年度2月補正予算案に対する意見に関する件	教育企画課	*
4	H26.2.17	平成26年2月富山県議会定例会に付議する平成26年度予算案及び条例案等に対する意見に関する件	教育企画課	*
5	H26.3.12	平成26年度富山県教育委員会重点施策に関する件	教育企画課	
6	H26.3.12	教育職員の人事に関する件	教職員課	*
7	H26.3.24	富山県庁議運営規程一部改正の件	教育企画課	
8	H26.3.24	富山県教育委員会行政組織規則一部改正の件	教育企画課	
9	H26.3.24	富山県教育委員会公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する規則一部改正の件	教育企画課	
10	H26.3.24	富山県立学校管理規則一部改正の件	教職員課	
11	H26.3.24	県費負担教職員及び県立学校教員の指導改善研修及び転任等の手續に関する規則一部改正の件	教職員課	
12	H26.3.24	県費負担教職員及び県立学校教員の転任等の手續に関する規則廃止の件	教職員課	
13	H26.3.24	富山県教職員健康審査会規則廃止の件	小中学校課	
14	H26.3.24	富山県心身障害児就学指導委員会規則一部改正の件	県立学校課	

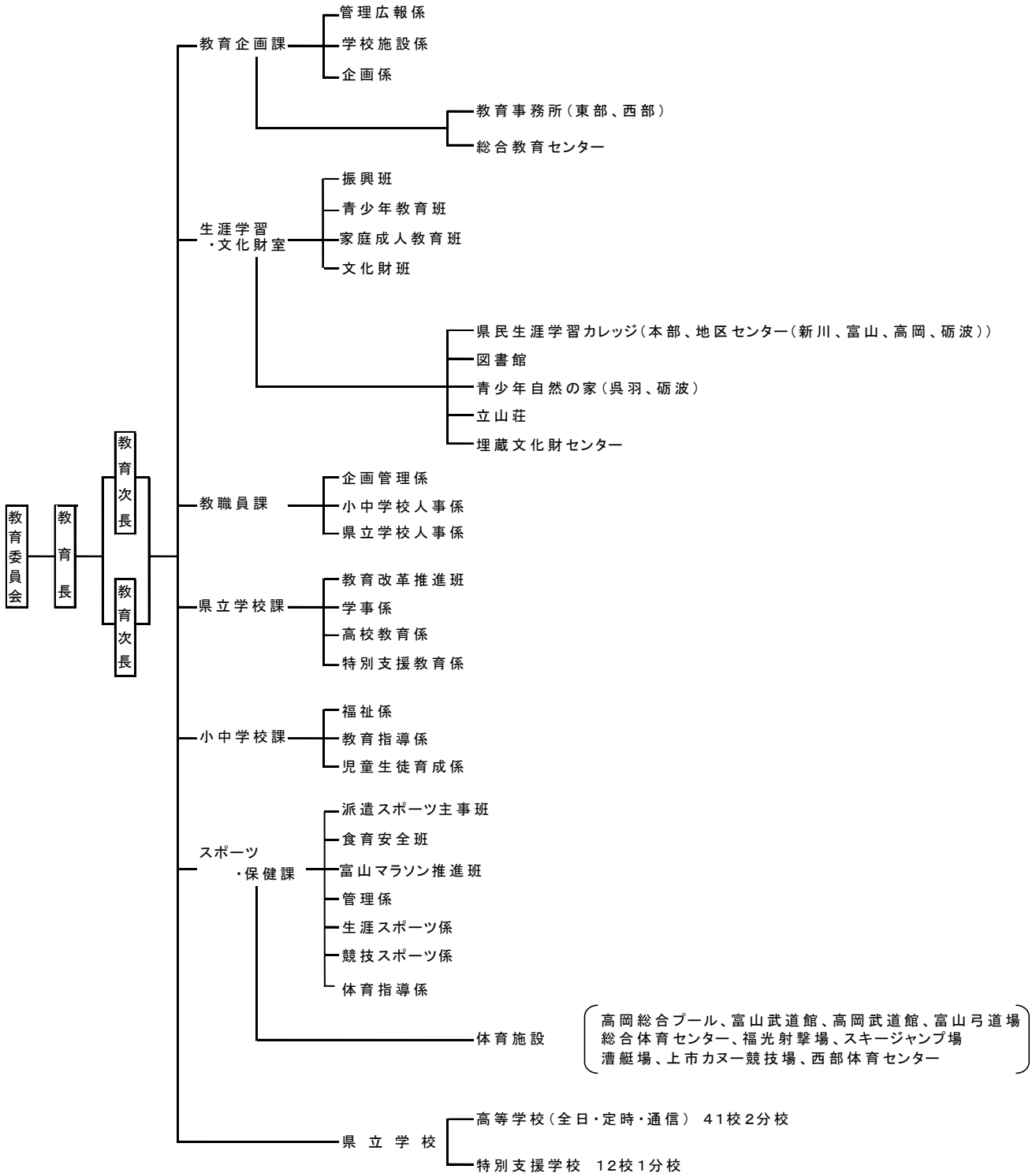
番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
15	H26. 3. 24	富山県教育委員会事務局及び富山県立学校教職員被服等貸与規程一部改正の件	小中学校課	
16	H26. 3. 24	事務局職員の人事に関する件	教育企画課	*
17	H26. 3. 24	富山県銃砲刀剣類登録審査委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
18	H26. 3. 24	富山県文化財保護審議会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
19	H26. 6. 30	富山県教育委員会行政組織規則一部改正の件	教育企画課	
20	H26. 6. 30	富山県いじめ防止対策推進委員会規則制定の件	小中学校課	
21	H26. 6. 30	富山県立山博物館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
22	H26. 6. 30	富山県立近代美術館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
23	H26. 6. 30	富山県水墨美術館運営委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
24	H26. 6. 30	富山県民生涯学習カレッジ運営会議及び同富山地区センター運営会議委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
25	H26. 6. 30	平成 27 年度使用義務教育諸学校用教科用図書採択の件	小中学校課	*
26	H26. 7. 28	富山県いじめ防止対策推進委員会委員任命の件	小中学校課	*
27	H26. 7. 28	平成 27 年度富山県立高等学校及び富山県立特別支援学校幼稚部・高等部の入学者選抜日程決定の件	県立学校課	*
28	H26. 8. 27	富山県立山荘指定管理候補者選定委員会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
29	H26. 9. 30	富山県指定無形民俗文化財の指定の件	生涯学習・文化財室	
30	H26. 9. 30	富山県指定天然記念物の指定解除の件	生涯学習・文化財室	
31	H26. 9. 30	平成 26 年度教育功労者等表彰の件	教育企画課	*
32	H26. 9. 30	富山県教育委員会表彰（健康教育実践優良学校）の件	スポーツ・保健課	*
33	H26. 10. 3	平成 27 年度富山県立学校募集定員等決定の件	県立学校課	

番号	年月日	標 題	主務課(室)	備考
34	H26.10.20	平成 26 年度教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（平成 25 年度分）の件	教育企画課	
35	H26.10.20	平成 27 年度富山県立高等学校入学者募集要項制定の件	県立学校課	
36	H26.10.20	平成 27 年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項制定の件	県立学校課	
37	H26.10.20	平成 26 年度教育功労者等表彰変更の件	教育企画課	*
38	H26.10.20	富山県生涯学習審議会委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
39	H26.10.20	富山県社会教育委員任命の件	生涯学習・文化財室	*
40	H26.11.11	平成 26 年度末教員異動方針に関する件	教職員課	
41	H26.11.11	教育職員の人事に関する件	教職員課	*
42	H26.11.11	富山県教育委員会表彰（学校給食優良学校等）の件	スポーツ・保健課	*
43	H26.12.22	教育に関する事務の点検及び評価に係る学識経験者の委嘱の件	教育企画課	*
44	H26.12.22	富山県スポーツ推進審議会委員任命の件	スポーツ・保健課	*

2 県教育委員会行政機構

(1) 組織機構図

(平成 26 年 4 月現在)



(2) 所管事項

【本庁（6課）】

課名	班・係名	所管事項
教育企画課	管理広報係 学校施設係 企画係	事務局職員の人事、給与、予算、表彰、広報等 県立学校施設の整備及び管理、文教施設国補事業 教育問題研究、政策評価、調査統計
生涯学習・ 文化財室	振興班 青少年教育班 家庭成人教育班 文化財班	生涯学習の振興及び社会教育施設の整備・管理 青少年教育の推進、青少年団体の育成 成人・女性・家庭教育の推進、社会教育団体育成、 公民館の指導 文化財の保護、顕彰、文化財保護団体の育成
教職員課	企画管理係 小中学校人事係 県立学校人事係	学校事務職員の人事、教職員の給与、予算、研修 小中学校教育職員の人事、給与、サービス 県立学校教育職員の人事、給与、サービス
県立学校課	教育改革推進班 学事係 高校教育係 特別支援教育係	県立高校再編、学級編成 授業料、育成奨学 高等学校教育指導 特別支援教育指導
小中学校課	福祉係 教育指導係 児童生徒育成係	教職員の福利厚生、共済組合 幼・小・中学校教育指導 小・中・高等学校生徒指導
スポーツ・ 保健課	派遣スポーツ主事班 食育安全班 富山マラソン推進班 管理係 生涯スポーツ係 競技スポーツ係 体育指導係	市町村社会体育・スポーツの振興 学校の保健、安全、健康管理、学校給食の指導 マラソン大会の開催準備に関すること 県営体育施設の運営、管理 生涯スポーツの普及、振興 競技スポーツの普及、振興 学校体育の指導

【出先機関及び教育機関】

機関名	所管事項・設置目的等
教育事務所（東部・西部）	小・中学校教員の人事、給与、研修、指導
県民生涯学習カレッジ （本部、新川・富山・高岡・砺波 地区センター）	生涯学習の振興、講座開設
総合教育センター	教育研究、教員研修
県立図書館	図書・記録・その他資料の収集整理保存、閲覧・貸出
青少年自然の家（呉羽・砺波）	青少年の集団宿泊訓練、野外活動の推進
立山荘	レクリエーションの振興を図る施設の提供
埋蔵文化財センター	埋蔵文化財の調査研究、収蔵及びその活用
体育施設（10施設）	体育、スポーツの振興及び施設の提供

【知事部局と共管（平成 18 年 4 月～）】

機関名	設置目的等
近代美術館	県民の美術に関する知識の普及及び教養の向上
水墨美術館	水墨画等の文化的所産の紹介による教養の向上
立山博物館	立山の自然、歴史等に関する資料の収集、保管、展示、調査研究

3 県教育事務所

県教育事務所は、県教育委員会事務局の出先機関として、東部、西部の 2 ヶ所に設置し、管内小・中学校職員の服務規程、各学校の教育指導、社会教育の指導等の業務を行っている。

その名称、位置、所管区域は次のとおりとなっている。

（平成 26 年 4 月 1 日現在）

名称	位置	所管区域
東部教育事務所	富山市	富山市、魚津市、黒部市、滑川市、朝日町、入善町、舟橋村、立山町、上市町
西部教育事務所	高岡市	高岡市、氷見市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市

4 市町村教育委員会

〈組織別教育委員会数〉

（平成 26 年 4 月 1 日現在）

区分	市	町	村	計
委員 5 人制	10	4	1	15
委員 3 人制	—	—	—	—
計	10	4	1	15

第3節 教育財政

<平成26年度当初予算の概況>

(1) 一般会計

平成26年度県予算総額は、5,572億6,648万円で、前年度と比較して12億2,046万円増加（2.2%増）している。

このうち、教育委員会所管予算額は、951億584万円で、前年度と比較して11億4,988万円減少し（1.2%減）、県の一般会計予算全体に占める割合は、17.1%となっている。

ア 県予算との比較

（単位：千円）

区 分	平成25年度	平成26年度	増 減	構 成 比	対前年度比	備考
県 予 算	545,061,878	557,266,481	12,204,603	100.0%	102.2%	
教育委員会所管予算	96,255,713	95,105,835	△ 1,149,878	17.1%	98.8%	

イ 「項」別内訳表

（単位：千円）

区 分	平成25年度	平成26年度	増 減	構 成 比	対前年度比	備考
教育総務費	2,613,272	2,779,572	166,300	2.9%	106.4%	
小学校費	34,450,952	33,821,473	△ 629,479	35.6%	98.2%	
中学校費	19,620,061	18,995,462	△ 624,599	20.0%	96.8%	
高等学校費	27,000,530	26,813,235	△ 187,295	28.2%	99.3%	
特別支援学校費	9,945,024	9,817,952	△ 127,072	10.3%	98.7%	
社会教育費	1,208,020	1,202,210	△ 5,810	1.3%	99.5%	
保健体育費	1,417,854	1,675,931	258,077	1.8%	118.2%	
合計	96,255,713	95,105,835	△ 1,149,878	100.0%	98.8%	

(2) 特別会計

（単位：千円）

会 計 名	平成25年度	平成26年度	増 減	対前年度比	備考
奨学資金特別会計 （教育委員会所管分）	239,692	223,412	△ 16,280	93.2%	

第4節 表彰

1 叙勲

(1) 平成25年春の叙勲

〈教育功勞〉

瑞宝小綬章	鷺本	義昌
瑞宝双綬章	荒井	茂昭
瑞宝双光章	野上	朝親
瑞宝双光章	久田	久伸

〈学校保健功勞〉

瑞宝双光章	堀	宏
-------	---	---

〈スポーツ振興功勞〉

旭日双光章	齊藤	幸子
-------	----	----

(2) 平成25年秋の叙勲

〈教育功勞〉

瑞宝小綬章	大畑	年
瑞宝小綬章	濱本	純雄
瑞宝双光章	石倉	秀一
瑞宝双光章	水上	茂雄

〈学校保健功勞〉

瑞宝双光章	北村	吉造
-------	----	----

2 県教育委員会表彰

(1) 文化の日を機会とする表彰（平成25年11月1日県庁4階大ホール）

〈学校教育功勞者〉

北岡	勝
横道	久壽雄
杉本	豊一
平田	和雄
神通	隆
地元	顯
小幡	勝義
仙石	正三

〈学校保健功勞者〉

辻	外幸
山本	郁夫
山田	祐司
沖	多門
安田	篤
齊藤	直太郎

〈優良学校〉

富山県立滑川高等学校

〈優良教育団体〉

富山県立中央農業高等学校
農業クラブ

富山県立高岡商業高等学校
模擬株式会社「りゅうりゅう」

〈優良児童生徒〉

石川	莉夏子
大村	一颯

〈優良教職員〉

田中	照美
布村	早余子
練合	桂子
仙田	麻子
野上	裕子
森田	美幸
横山	美智子
坂田	和彦
下村	美貴子
遠矢	司佳子
近藤	美恵子
扇澤	文夫
五十嵐	恵美子
柳原	英志

大崎 武治
番土 隆
武田 浩司
山本 正樹
野口 安正
吉川 幸義
彪 芳震
山崎 陽子
増田 朋宏

〈社会教育功労者〉

中山 雅之
山口 吉弘
堀内 國春

〈優良社会教育団体〉

ボーイスカウト高岡第28団
戸出東部小学校PTA
黒部川扇状地研究所

〈優良社会教育機関〉

氷見市窪公民館
魚津水族博物館

〈芸術文化功労者〉

武田 宏

〈体育・スポーツ功労者〉

徳前 啓人
岡本 仁
山崎 功博
中村 一生
貫田 昭紀子
角地山 豊

〈優良体育・スポーツ団体〉

高岡市民歩こう会
メルヘンよつば
伏木錬成館バトントワラーズ
田家イーグルススポーツ少年団
日本3B体操協会富山県支部

〈優良体育・スポーツ活動推進者〉

村島 匠
村上 英士朗
長谷川 智彦
中川 将彰
稲葉 映美
林 美涼
山元 豪
宮原 優
佐野 賀世子
義浦絵吏子
浦島 千春
岡田 彩果
嘉村 健士
田畑 真紀
穂積 雅子
花岡 萌
富山市立大沢野中学校ボート部
坂田 泰人・二本松慎也組
上市町立上市中学校レーシングカヌー部
浦田 樹里・中田 舞絢組
小矢部市立蟹谷中学校ホッケー部
富山国際大学附属高等学校バドミントン部
松田 蒼・金浦 紗樹組
富山県立南砺福光高等学校
ライフル射撃部
富山県立水橋高等学校カヌー部
山本 結花・吉崎 真由組
富山県立水橋高等学校カヌー部
平井 飛勇・岡本 拓也組
富山第一高等学校硬式野球部
国民体育大会ボート競技
男子舵手つきクォドルプル富山県チーム
富山県相撲連盟富山県チーム
稲葉 映美・野上 麻奈・谷内 明日実組
トナミ運輸(株)バドミントン部

(2) 富山県健康教育実践優良学校表彰（平成 25 年 11 月 1 日 県庁 3 階特別室）

ア 総合の部門（一いきいき富山っ子賞一）

- (ア) 優良校 小矢部市立津沢小学校
(イ) 準優良校 立山町立釜ヶ淵小学校
(ウ) 努力校 富山市立船嶽小学校 富山市立新庄北小学校
南砺市立平小学校

イ 近視予防の部門

- (ア) 優良校 魚津市立松倉小学校
(イ) 準優良校 黒部市立前沢小学校
(ウ) 努力校 入善町立飯野小学校 砺波市立庄東小学校

ウ よい歯の部門

- (ア) 優良校 黒部市立生地小学校
(イ) 準優良校 砺波市立砺波南部小学校
(ウ) 努力校 射水市立金山小学校 高岡市立太田小学校

(3) 富山県学校給食関係表彰（平成 26 年 1 月 16 日 富山県庁 特別室）

- ア 学校給食優良学校等 富山市北学校給食センター
射水市立太閤山小学校
イ 学校給食功労者 五十嵐 きよみ（杉原中学校 学校栄養職員）
舟本 春美（入善小学校 調理員）
北條 清美（滑川市学校給食共同調理場 調理員）

3 県表彰

(1) 県功労表彰（平成 25 年 11 月 1 日 県庁 4 階大ホール）

〈学校教育〉

米原 寛 大代 忠男 山口 松蔵 水上 庄子 姫野 洋一
黒川 勇次郎

〈社会教育〉

廣瀬 睦子 福山 暁人

〈文化〉

柴垣 光郎

〈スポーツ〉

中西 邦康 町野 諭三 平野 容子 谷内 明日実
大西大晶・大西咲菜組

(2) 特別表彰（平成 25 年 10 月 25 日 知事室）

登坂 絵莉 田知本 愛 田知本 遥

(3) 富山県青少年スポーツ特別栄誉賞（平成 26 年 2 月 2 日 富山県民会館）

富山第一高等学校サッカー部

4 中央表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰

（文部科学大臣表彰 平成 25 年 10 月 4 日 文部科学省講堂）

長島 潔（魚津市教育委員会教育長）

(2) 教育者表彰（文部科学大臣表彰 平成 25 年 11 月 27 日 文部科学省講堂）

長井 忍（射水市立小杉小学校長）

星野 正義（射水市立大門中学校長）

藤田 栄（富山県立南砺福野高等学校長）

(3) 優秀教員表彰（文部科学大臣表彰 平成 26 年 1 月 27 日 メルパルクホール）

澤田 尚代 南砺市立井波小学校

島田 誠治 富山県立小矢部園芸高等学校

関口 利浩 富山県立富山高等支援学校

片山 浩美 富山県立高岡高等支援学校

鵜野 茂子 富山県立高志支援学校

中 佳美 黒部市立宇奈月小学校

高畠 佳江 射水市立大島小学校

印田 幸代 魚津市立住吉小学校

水野 浩 富山県立水橋高等学校

西村 伊都子 入善町立入善小学校

(4) 産業教育功労者表彰

（産業教育振興中央会表彰 平成 25 年 11 月 14 日県庁 4 階大会議室）

池田 尚紀 富山県総合教育センター 所長（工業）

寺島 吉弘 富山県立砺波工業高等学校 校長（工業）

金山 史生 富山県立滑川高等学校 教頭（工業）

若杉 達也 富山県立滑川高等学校 教頭（水産）

亀澤 満 元富山県立ふるさと支援学校 教頭（商業）

東海 幸美	富山県立高岡商業高等学校	教諭 (家庭)
鈴木 敬子	富山県立砺波高等学校	教諭 (家庭)
橋本 充	富山県立氷見高等学校	教諭 (水産)
今多 芳雄	富山県立小矢部園芸高等学校	実習教諭 (農業)
中嶋 伸夫	富山県立南砺福野高等学校	実習教諭 (農業)

(5) スポーツ推進委員功労者表彰

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 11 月 21 日 和歌山ビッグホエール)

西村 良三 (氷見市)

佐伯修太郎 (射水市)

(6) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 10 月 11 日 文部科学省講堂)

〈生涯スポーツ功労者〉

西川 友之 (富山県バレーボール協会会長)

油井 史郎 (富山県ライフル射撃協会副会長)

水嶋 美津子 (富山県ビーチボール協会副会長)

〈生涯スポーツ優良団体〉

高岡古城クラブ (高岡市)

庄南スポーツ少年団バドミントン部 (砺波市)

富山県フォークダンス連盟 (高岡市)

富山県ママさんバレーボール連盟 (富山市)

(7) 体力づくり優秀組織表彰

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 2 月 7 日 山口県 ホテルかめ福)

朝日町

(8) 学校保健及び学校安全に関する表彰

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 11 月 7 日 秋田ビューホテル)

学校保健 立浪 次夫 [学校歯科医] (射水市)

石倉 裕之 [学校薬剤師] (射水市)

学校安全 高岡市立平米小学校

学校安全ボランティア活動奨励賞 大庄パトロール隊
福光中部小学校ふれあい隊

(9) 学校給食表彰

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 10 月 31 日 三重県総合文化センター)

学校給食優良学校等 氷見市立上庄小学校

学校給食功労者 三邊 真純 (富山市立蜷川小学校 栄養教諭)

(10) 安全功労者内閣総理大臣表彰 (平成 25 年 7 月 1 日 総理大臣官邸)

高岡市立定塚小学校

(11) 子どもの読書活動に関する表彰

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 4 月 23 日 国立オリンピック記念青少年総合センター)

〈子どもの読書活動優秀実践図書館〉

南砺市立図書館

〈子どもの読書活動優秀実践団体〉

舟橋村イソップの会

〈子どもの読書活動優秀実践校〉

富山市立大広田小学校

高岡市立博労小学校

富山県立砺波高等学校

(12) 優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる表彰

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 12 月 5 日 文部科学省)

滑川市 南部さわやか教室

氷見市 海峰放課後子ども教室

(13) 地域文化功労者表彰

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 11 月 11 日 文部科学省)

重要有形・無形民俗文化財高岡御車山保存会

(14) 社会教育

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 11 月 22 日文部科学省)

上田 良子

梁瀬 正文

(15) 優良 PTA

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 11 月 19 日ホテルニューオータニ)

富山市立保内小学校 P T A

砺波市立庄西中学校「生徒の為の保護者と教師の会」(P T A)

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 8 月 22 日山口県スポーツ文化センター)

富山県立砺波工業高等学校 P T A

(16) PTA 活動振興功労者

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 11 月 19 日ホテルニューオータニ)

林 久嗣

大沼 宗義

松嶋 浩二

(文部科学大臣表彰 平成 25 年 8 月 22 日山口県スポーツ文化センター)

毛利 一朗

辻 和夫

(17) 優良公民館表彰

(文部科学大臣表彰 平成 26 年 3 月 4 日文部科学省)

魚津市村木公民館

高岡市立牧野公民館

第5節 広報広聴活動

1 広報資料

平成25年度は、「教委だより」等による独自活動のほか、広報課との協力による広報活動、記者クラブを通じての情報提供等を行った。

県教育委員会の主な広報資料は下記のとおり。

- (1) 教委だより 県教育の現況、関係事業の案内及び報告等。隔月に発行。
小・中・高・特別支援学校の教職員及び教育関係機関に配布。
A4判、8p、1回11,000部
- (2) 教育要覧 県教育の事業実績、参考資料等。年1回発行。A4判、229p
※18年度から県ホームページで掲載（情報公開窓口、県立図書館は製本版を配置）
- (3) 富山県の教育 県教育の現況を、図表・グラフ等により紹介。10月発行。
市町村教委、県立学校、教育関係機関等に配布。
A4判、8p、中とじ、1,000部。
- (4) 福利とやま 福祉事業の紹介、結果報告等。年4回発行。
小・中・高・特別支援学校の教職員及び県教委事務局職員に配布。
A4判、平均12p、1回9,200部

2 県の広報媒体の利用

一般県民に対する広報活動は、県の広報媒体を利用して行っている。

- ・新聞広報「県からのお知らせ」（毎月2～3回土曜日朝刊）
- ・広報誌「県広報とやま」（各世帯配布。4、6、8、10、1月の年5回）
- ・タウン誌広報「タウン情報とやま」（年5回）
- ・テレビ放送「こんにちは富山県です」（北日本放送 毎週土曜 朝15分）
「月刊！元気とやま情報チャンネル」（富山テレビ 毎月最終土曜 夕方55分）
「とやまメモらナイト」（チューリップテレビ 毎週日曜 夜3分）、
- ・ラジオ放送「元気とやま情報スクエア」（FMとやま 毎週月～金曜朝5分 ㊦夕方）
（※ 毎月最終金曜は、「知事の県政ざっくばらん」 10分）
- ・お知らせ（パブリシティ）テレビ・ラジオ各局、ケーブルテレビ各局、コミュニティFM各局

第6節 奨学事業

1 県の奨学事業

(1) 富山県奨学資金

貸与条例に基づき、有為な人材の育成を図るため、経済的理由のために修学困難で、かつ優れた者に無利子で奨学資金を貸与している。

また、21年度には家計の急変で奨学金を緊急に必要とする生徒のため、通常の奨学金よりも5千円増額貸与する「特別緊急採用による奨学金貸与制度」を創設した。

貸与金の返還方法は、卒業後6カ月の措置期間を含めて10年6カ月の期間内に年賦又は半年賦で返還する。

ア 貸与月額

(平成25年度)

学校種別	国公立区分	通学区分	1年(円)	2年(円)	3年(円)	4年(円)	5年(円)	6年(円)
			(H25入学)	(H24入学)	(H23入学)	(H22入学)	(H21入学)	(H20入学)
高等学校 特別支援学校高等部 中等教育学校後期課程 専修学校高等課程	国立	自宅	18,000(特別緊急採用		23,000)			
		自宅外	23,000(特別緊急採用		28,000)			
	私立	自宅	30,000(特別緊急採用		35,000)			
		自宅外	35,000(特別緊急採用		40,000)			
高等専門学校 (4年次より貸与月額増)	なし	なし	18,000			44,000		
大学 (短期大学を含む)	なし	自宅	45,000					
		自宅外	51,000					
専修学校専門課程	なし	なし	44,000					

イ 奨学生採用状況

(平成26年3月31日現在)

区分		年度							
		19	20	21	22	23	24	25	
大学	志願者数	80	94	101	78	80	59	45	
	採用者数	47	63	57	54	52	31	27	
高校 (高専を含む)	志願者数	92	96	153	124	117	112	101	
	採用者数	86	91	140	115	112	109	98	
専修学校	志願者数	19	14	19	23	21	24	10	
	採用者数	16	8	10	11	15	16	7	

ウ 学年別貸与人員

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	1	2	3	4	5	6	計
	人	人	人	人	人	人	人
高等学校	74	95	94	1	0	0	264
専修学校（高等課程）	0	2	0	0	0	0	2
高等専門学校	3	1	2	0	1	0	7
大学	18	28	43	47	3	1	140
専修学校（専門課程）	6	14	5	2	0	0	27

(2) 定時制通信制修学奨励金貸与事業

修学奨励金貸与条例に基づき、働きながら高校の定時制及び通信制に在学する者に対し、修学奨励金を貸与することによりその修学を促進し、もって教育の機会均等に資する。

なお、定時制又は通信制高校を卒業した場合は、返還債務は免除される。

ア 貸与月額

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	貸与月額
定時制課程	1・2・3・4年(次)生 公立 14,000 円
通信制課程	1・2・3・4年次生 公立 14,000 円

イ 奨学生採用状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

年度	21	22	23	24	25
申請者数	1 人	1 人	1 人	4 人	6 人
採用者数	1 人	1 人	1 人	4 人	6 人

ウ 学年別貸与人員

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	1	2	3	4
定時制課程	0 人	2 人	3 人	1 人
通信制課程	0 人	0 人	0 人	0 人

(3) その他（災害被災者への措置）

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被災幼児児童生徒に対して、就学支援措置を講じた。

- ・転校・転入学の受入れ（26.5.1 現在）

市町村立小学校 26 人、同中学校 15 人、県立高校 4 人

- ・就学支援事業

幼稚園保育料等の軽減、小・中学校における就学費用の援助、県立高校入学料の免除（25 年度 2 人）及び入学考査手数料の免除（26 年度入学者選抜 2 人）